



12月17日

東地申 24号

東大宮訓練センターで発生した「新型コロナウイルス感染症」を受けて 各種研修の一旦中止を求める緊急申し入れ団体交渉を行う！

【冒頭、地本から趣旨を述べる！】

新型コロナウイルスの猛威が止まらず第3波の到来とも言われている。感染者数が20万人になろうとしている。私たちは、エッセンシャルワーカーとして感染防止対策を行い、感染リスクを下げる努力をしている。緊急に申し入れを行っている以上、重視すべきである。

1. 東大宮訓練センターで発生した新型コロナウイルス感染において濃厚接触者の陰性結果が出るまで研修を一旦中止すること。

(回答)新型コロナウイルス感染症対策を行って上で、必要な教育を行っていく。

(組合) 10月22日以降の会社の対策を明らかにすること。

(会社) 危機管理本部指示に基づき、濃厚接触者の把握や濃厚接触者の疑いがある社員のデスクの消毒や共有スペースの消毒を実施している。消毒液やハンドソープ、うがい薬など無くなれば配備している。

(組合) 現場は、5月以降対策が何も変わらない。今月になって急にパーテーションなどが設置された。初動体制が遅いという認識である。研修生も不安があるので、迅速に対応すること。

(会社) パーテーションなど、物が無かったため遅くなった。今後も、不安をあおらないように出来ることを努力していく。

(組合) 訓練を再開した判断の基準を明らかにすること。

(会社) 保健所の濃厚接触者の判断に基づいて、濃厚接触者ではないと判断できたからである。

(組合) 現場では新型コロナウイルスに感染した場合、簡易フローの通りに取り扱いになっていない。今後発生した場合、中止の判断を含めて対策を明らかにすること。

(会社) 現場での対応が出来ていなかったことは真摯に受け止める。今後陽性が出た場合、危機管理本部指示に基づいてフロー通りに対応していく。中止の判断については、国から緊急事態宣言や出控えの要請などがあたら検討する。

(組合) 現場と支社で、意思疎通がうまくいっていない。

コロナ感染は防いでいかななくてはならない。

(会社) 現場でコミュニケーションを図ることは、問題ない。

**フロー通りに行っていない事実を認め
危機管理指示に基づき、フロー通りの
対応を確認！**

確認！

2. 研修内容により、15分以上密接している恐れがあるため、関係者へのPCR検査を受けさせること。

(回答)会社としてPCR検査を受けさせるものではなく、関係機関等の指示によるものである。

(組合) 一概にPCR検査を求めている。東大宮訓練センターは、業務の一環である。濃厚接触者の近くにいた社員・研修生を対象にPCR検査を受けるべきである。

(会社) 会社は、医者ではないのでPCR検査を受けなさいと言えない。

「かかりつけの病院や保健所などの窓口で相談してください」と指導するしかできない。

(組合) 新型コロナウイルスが終息し、現状の訓練方法と変更などが発生する場合は、現場社員や研修生への丁寧は説明を行ってから変更すること。

(会社) 新型コロナウイルスの状況を見ながら判断していくことになる。現場への説明は、丁寧に周知していく。

対立！

**経営状況が厳しい中、新型コロナウイルスに感染しない・させない努力を継続していること！
列車を安全・安定に走らせることがお客さまへのサービスであることを確認し、交渉を終了！**